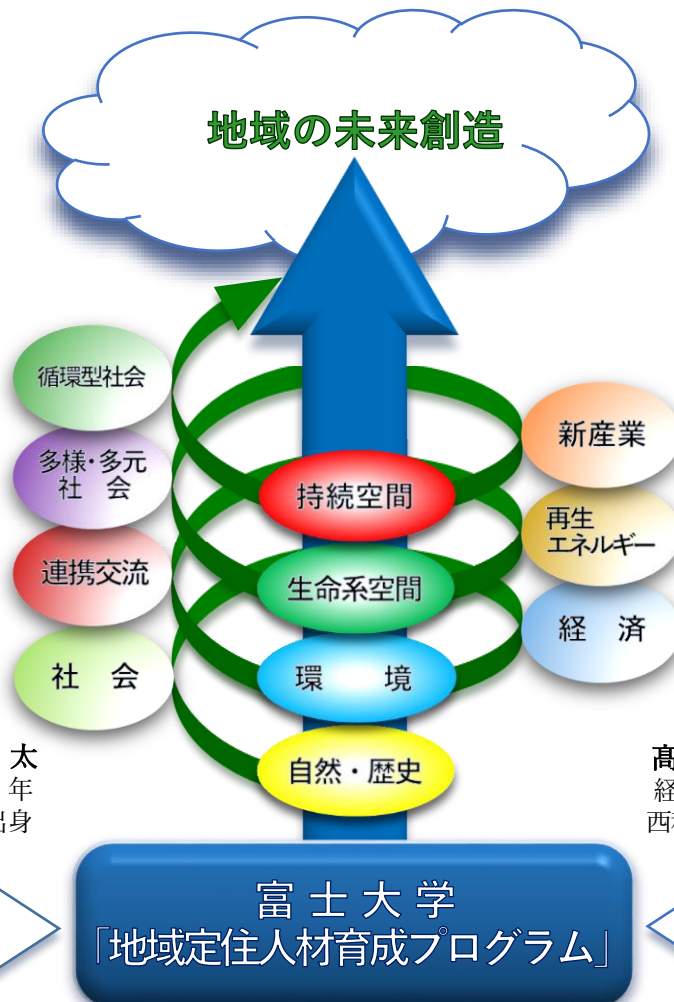


富士大学には「地域創生論」という外部講師を招き、地域ビジョンの実例を学べ、現状の地域を理解し、さらには今後の課題を探究するという講義があります。その他、地域に関する科目も充実しており、様々なまちの政策や活性化につながる方法を深く学びたいと思います。卒業後は地元に戻り、役場職員になりたいと思っています。4年間を通して培ったコミュニケーション能力や課題解決能力を十分に発揮して、台風被害のあった岩泉町の復興に尽力し、故郷に恩返しをしたいと考えています。



柳 畑 貫 太
経済学科1年
岩泉高校出身

地域の諸問題



私は将来、西和賀町に戻り、役場の職員として働きたいと思っています。町の少子高齢化や農家などの後継者不足といった問題の解決のため頑張りたいと思います。このプログラムに応募しました。地域づくりの実例を交えながら、実践的な地域創生のための活動について学ぶため、「地域創生論」など、たくさんの講義を受講したいです。さらに卒業後の教養としてパソコンでの文書や資料作成などについてもスキルを高めたいです。大学での4年間で将来のために役立てられるように頑張ります。



高 橋 一 希
経済学科1年
西和賀高校出身

地域フロンティア空間

富士大学の「地域定住人材育成プログラム」

(DHC : Program to Develop Human Capital of Local Communities)

地域経済の後退、少子高齢化そして加速する人口減少など、地域を取り巻く環境には厳しいものがあります。しかし一方で、農産物や木材が輸出産業として大きく伸び、地域資源を活用する再生エネルギー産業が生まれ、ナノテクノロジーによる木材繊維製品の開発ラッシュと、森林空間が丸ごと機能性空間として所得源となる見通しが出るなど、地域は今後の日本を支えるフロンティアとしても注目されています。地方創生が日本中で叫ばれるのは、こうした背景があるからです。

地域には未来型空間の実現が期待されているのです。

そのためには、地域の多様な人たちがネットワークし、新しい価値関係・新しい産業・新しい生活形態の構築に向け、新型エンジンを始動させなければなりません。

「地域定住人材育成プログラム」は、こうした課題を担う人々を養成するもので、主に地元高校の卒業生を対象にしています。

入学

□履修科目の一例

	学科共通科目	教養科目		専門科目	
1～2年次	基礎英語 展開英語 情報リテラシー 体育実技	環境政策 国際経済社会と日本 現代福祉と環境	国土と環境 自然再生エネルギー 情報化と社会	公共経済学 経済政策 地域金融論 法律と経済 地域創生論 地方自治論 森林・林業経済論 農業経済論 地方財政論	社会保障論 日本経済論 公的扶助論 NPO 論 ほか 地域経済論 経済開発論 流通経済論 中小企業論 観光産業論 ほか
3～4年次	外国語 (ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語のいずれかを選択)	現代社会と地域			

※上記科目は、一部暫定科目となります。(平成29年度10月末時点)

県内5大学 単位互換科目	地域福祉論 地域と生活	地域交通論 地域と民族	地域災害論 地域言語論	地域活性論 いわて学Ⅰ・Ⅱ
-----------------	----------------	----------------	----------------	------------------

□学科・コース ※このプログラムは、全ての学科・コースで学べます。

経済学部					
経済学科			経営法学科		
国際経済コース	地域政策コース	総合政策コース	経営・商学コース	法学コース	スポーツ経営コース

地域に関するフィールドワークを行い、卒業論文を作成



地元の自治体や商工会議所、銀行等の金融機関、公社、JA、森林組合 等に就職



上記及び裏面にあるカリキュラム表は、推奨履修内容を示したものです。知と実践の融合、歴史的・地球的視野からの地域把握、様々なセクターの尊重と補完関係の構築、制度政策理解の醸成、生産と消費における技術とシステムイノベーション、地域間の交流・連携の活発化など、今後の地域づくりに求められる基本的理論と方法が無理なく身に付くよう科目配置されています。

卒業後は、地元の自治体や商工会議所、銀行、公社ほか公的諸組織、農協、森林組合、NPO での活躍を期待していますので、就職支援にもキャリア教育の専門スタッフを数多く配置するなど、万全の体制をとっています。

□各年次のカリキュラム履修には、次のような狙いがあります。

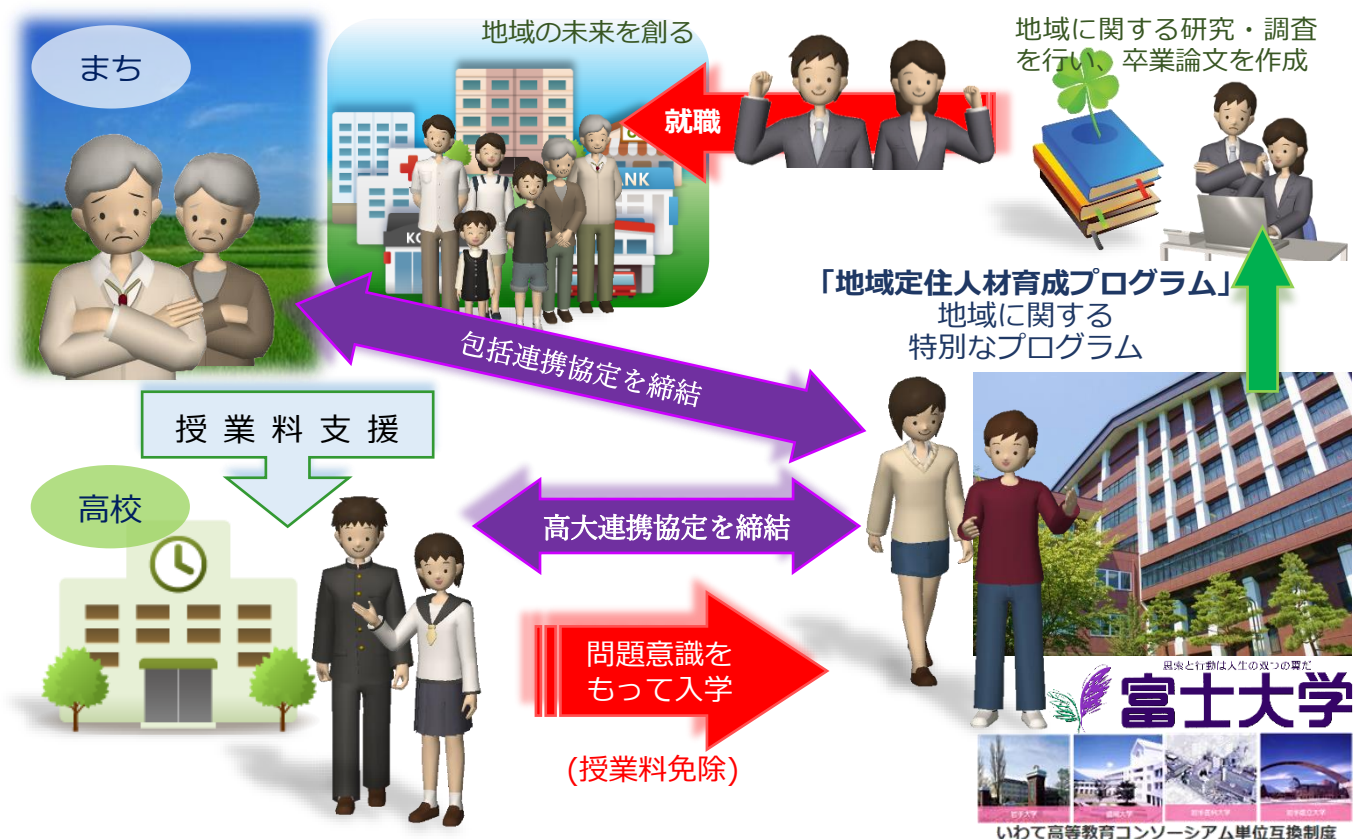
- 1年次…社会を把握し、現実社会を診断するために必要な社会科学の基礎と語学（英語）を身につける。学修方法としては、予習・復習を前提に討論中心のゼミ形式（少人数担任制）を重視。教養演習では現場に出向く機会を多く持つ。
- 2年次…複雑な地域の実情を構造的に把握し、問題点の原因とその乗り越え方法をイメージできるようになることを目指す。ここでもゼミと現場を重視し、学内外でのコミュニケーションによって学修成果を確認する。様々な地域への関心と地域づくりの事例について、一定の収集をする。
- 3年次…具体的地域の創造に関する構想が持てるよう経済、社会、環境に関する新情報を入手し、地域づくりの事例について、ミニ研究が主体的に行えるようになる。また卒業論文の対象地域と課題が明確となり、その分析についても、関連する新しい学問や新知見の整理ができていく。現場調査についても何度か経験する。
- 4年次…専門演習は卒業論文の調査とその整理、執筆そしてゼミでの発表の繰り返しにより、論文を仕上げていく。1年次から3年次までの学修が卒論として集大成できるように、現場での調査、資料収集についても補完し、論文に生かしていく。

「地域定住人材育成プログラム」推奨履修モデル(経済学部経済学科 地域政策コース)

区分 学年	学科共通科目	教養科目			専門科目			
		文化の受容と伝達	現代社会の基本構造	現代社会と環境	必修科目	選択必修科目		選択科目
1 年 次	基礎英語Ⅰ・Ⅱ		国際経済社会と日本	国土と環境	経済史Ⅰ	経済学概論	法律と経済	情報科学概論
	情報リテラシーⅠ・Ⅱ		情報化と社会	自然再生エネルギー	経済史Ⅱ	日本経済論	簿記原理Ⅰ	簿記原理Ⅱ
	教養演習					統計学概論		
	体育実技					経営学概論Ⅰ・Ⅱ		
2 年 次	展開英語Ⅰ	地理	環境政策	自然科学概論Ⅰ	ミクロ経済学	日本経済史	観光産業論	政治学
	展開英語Ⅱ		現代福祉と環境	環境と資源管理	マクロ経済学	地域金融論	NPO論	専門基礎演習
3 年 次					公共経済学	公的扶助論		
					経済政策	社会保障論		
	外国語Ⅰ・Ⅱ (ドイツ語・フランス語・ 中国語・韓国語のいずれ か選択)		現代社会と地域		専門演習Ⅰ	地域創生論	地域経済論	政治・社会制度論Ⅰ
					流通経済論	中小企業論	経済開発論	
4 年 次						農業経済論	金融論	
						森林・林業経済論	財政学	
					専門演習Ⅱ	地方自治論	経済学史	
						現代と経済学	商業経済論	
						地方財政論	ファイナンス論	
						起業家育成論		

※上記科目は、一部暫定科目となります。(平成29年度10月末時点)

「地域定住人材育成プログラム」の流れ



[お問い合わせ]

富士大学 総務・統括部、地域連携推進センター

〒025-8501 岩手県花巻市下根子 450-3

Tel 0198-23-6221 FAX 0198-23-5818